

【平成13年度】設計課題 「ルーフガーデンのある親子二世帯住宅(鉄筋コンクリート造(壁式構造)2階建)」

1. 設計条件

親世帯と子世帯の共通の趣味であるガーデニングや友人を招いてバーベキューをすることができるルーフガーデンのある二世帯住宅を計画する。

計画に当たっては、次の①、②に特に留意すること。

① 親世帯部分(1階)、子世帯部分(2階)及び共用部分(1階及び2階)の配置・動線について、下記の「(5) 要求室」の条件にしたがって、適切に計画する。

② ルーフガーデンは、1階部分の屋根を利用し、2階の「居間・食事室」と連続して利用できるようにする。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- エ. 敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造及び階数等

- ア. 鉄筋コンクリート造(壁式構造)2階建とする。
- イ. 基礎は、布基礎とする。
- ウ. 耐力壁は、厚さを15センチ以上とし、適切な壁量及び配置とする。

(3) 延べ面積

- 必ず「240㎡以上、280㎡以下」とする。
- (自動車車庫の部分は床面積に算入し、ピロティ、玄関ポーチ、ルーフガーデン等は、床面積に算入しない。)

(4) 家族構成

- ア. 親世帯:夫婦(70歳代)
- イ. 子世帯:夫婦(40歳代)、子供1人(高校生)

(5) 要求室

設置階	室名	特記事項	
1 階	自動車車庫	ア、小型乗用車(5人乗り)2台分とし、33㎡以上とする。 イ、出入口には、シャッター等を設ける。	
	共用部分	・ 自動車車庫と屋内で行き来できるようにする。 ア、8畳以上とし、床の間及び押入を設ける。 イ、客間としても利用する。	
	親世帯部分	夫婦居間 ・ 洋室15㎡以上とし、その他に収納を設ける。 ア、洋室15㎡以上とする。 イ、ミニキッチン(1,200mm×600mm)を設ける。	
	浴室	・ 4㎡以上とする。	
	洗面脱衣室	・ 4㎡以上とする。	
	便所	・ 4㎡以上とする。	
2 階	共用部分	居間・食事室 ア、洋室25㎡以上とする。 イ、ルーフガーデンへ直接出られるようにする。 ウ、1室にまとめる。 ・ 6㎡以上とする。	
	子世帯部分	夫婦居間	・ 洋室15㎡以上とし、その他に収納を設ける。
		子供居間	・ 洋室9㎡以上とし、その他に収納を設ける。
		浴室	・ 4㎡以上とする。
		洗面脱衣室	・ 広さは適宜とする。
		便所	・ 広さは適宜とする。
納戸	・ 4㎡以上とする。		
(全体に関わる特記事項)			
①1階部分の屋根に花壇のある20㎡以上のルーフガーデンを設ける。			
②1階と2階は、階段の他にエレベーター(1台)で連絡する。			
③親世帯が利用する室等については、高齢者に配慮した計画とする。			

(6) 建築物の最高の高さ等

- ・ 建築物の高さは、10m以下、かつ、1階及び2階の階高は3m以下とする。

(7) その他

- ア. 建築物内に設けるエレベーターは、次のとおりとする。
 - ・ エレベーターシャフトは、心々1,500mm×1,500mm以上とする。
 - ・ 駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし、機械室は設けなくて良い。
 - ・ 出入口の幅の内法は、800mm以上とする。
- イ. 1階の床組については、転ばし床とする。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみ出して記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 (1/100)	ア、敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ、1階平面図兼配置図に、門、塀、植栽等を記入する。 ウ、室名を記入する。 エ、自動車車庫の出入口に、シャッター等を記入する。
(2) 2階平面図 (1/100)	オ、ルーフガーデンに、テーブル、椅子、花壇(プランターでもよい)を記入する。 カ、台所設備機器(流し台、調理台、ガス台、冷蔵庫、ミニキッチン等)、浴槽、洗面器、便器、洗濯機を記入する。 キ、2階平面図に、ルーフガーデンを含む1階の屋根伏図も記入する。 ク、断面図の切断位置を記入する。
(3) 立面図 (1/100)	・ 南側立面図とする。
(4) 断面図 (1/100)	ア、切断位置は、ルーフガーデン及び2階の居間、食事室を含み1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ、建築物の外形及び床面、天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(壁ばり、スラブ、布基礎等)を記入する。 ウ、建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。
(5) 面積表	ア、建築面積、床面積及び延べ面積を、答案用紙の面積表に記入する。 イ、建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ、数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(6) 仕上表	ア、外部の主要な部位、(2階屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 イ、内部(2階の居間、食事室)の主要な部位(床、内壁、天井)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。

